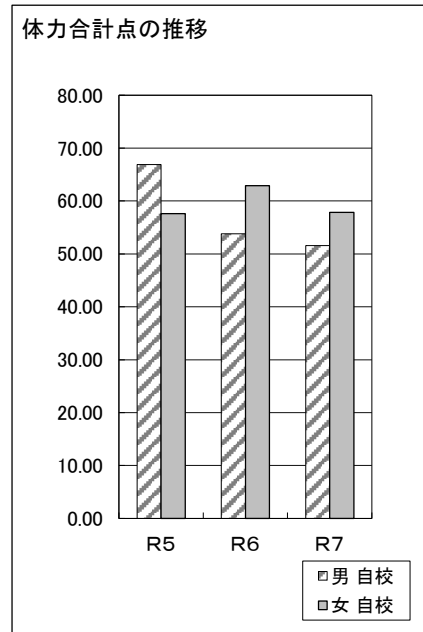
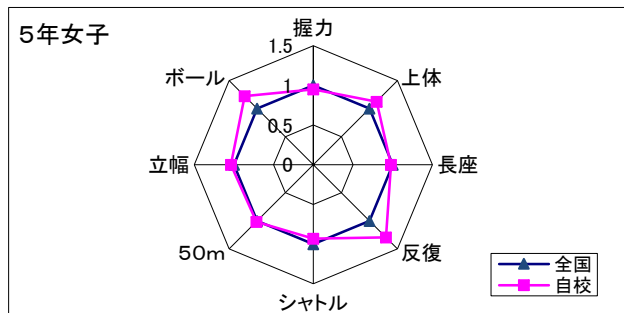
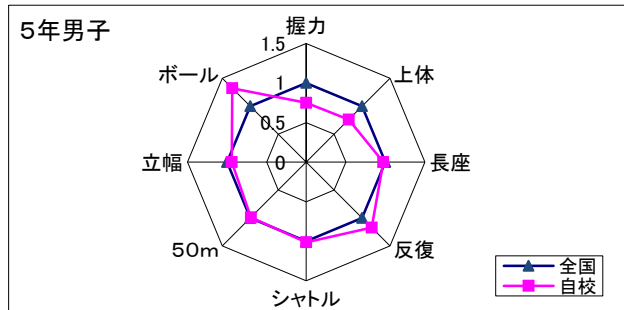


| | |
|-----|-----------|
| 学校名 | 小19 両城小学校 |
|-----|-----------|

1 自校の実技結果と全国平均との比較

| 学年 | 性別 | | R7平均値 | | | | | | | 体力合計点 | | | |
|----|----|----|---------|--------|---------|--------|----------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|
| | | | 握力 (kg) | 上体 (回) | 長座 (cm) | 反復 (点) | シャトル (回) | 50m (秒) | 立幅 (cm) | ボール (m) | R5 | R6 | R7 |
| 5年 | 男 | 全国 | 15.97 | 19.45 | 33.88 | 40.90 | 47.95 | 9.46 | 150.96 | 21.06 | 52.60 | 52.54 | 53.03 |
| | | 自校 | 12.00 | 14.80 | 33.00 | 47.90 | 48.60 | 9.56 | 142.00 | 27.80 | 66.90 | 53.80 | 51.60 |
| | | 比較 | △ | △ | △ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | △ |
| | 女 | 全国 | 15.61 | 18.36 | 38.17 | 38.71 | 36.87 | 9.77 | 142.39 | 13.10 | 54.29 | 53.93 | 53.98 |
| | | 自校 | 14.83 | 20.67 | 37.33 | 50.17 | 34.33 | 9.62 | 148.00 | 16.00 | 57.60 | 62.90 | 57.83 |
| | | 比較 | △ | ○ | △ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

| 呉市の重点種目 | 中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目 | 自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目 |
|---|---|--|
| 50m走 | 立ち幅とび | 長座体前屈 |
| <p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子については昨年度も今年度も全国平均を上回っている。 くれチャレンジマッチのダッシュリレーなどに年間を通して取り組んでいたが、男子については全国平均に及ばなかった。 | <p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子については昨年度も今年度も全国平均を上回っているが、男子については今年度、全国平均を下回った。 全身を連動させて跳ぶことについて、動きがぎこちない児童が多いため、体育科の授業内外で、両足を揃えて跳ぶ運動をする機会を増やしていく必要がある。 | <p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男子女子ともに、全国平均を下回っているが、どちらも1cm未満である。朝の会での継続した柔軟運動が少しずつ成果を上げていると考えられる。 柔軟性を高めるために、今後も取組を継続していく。 |

3 児童質問紙調査の結果及び分析

| 運動やスポーツをすることが好きな児童の割合 | | 朝食を毎日食べる児童の割合 | | 1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合 | | | | |
|--|----|---------------|--|-----------------------|-------|---|----|-------|
| 男子 | 全国 | 93.5 | 男子 | 全国 | 82.5 | 男子 | 全国 | 90.1 |
| | 自校 | 100.0 | | 自校 | 88.9 | | 自校 | 100.0 |
| 女子 | 全国 | 85.8 | 女子 | 全国 | 80.4 | 女子 | 全国 | 82.8 |
| | 自校 | 83.3 | | 自校 | 100.0 | | 自校 | 66.7 |
| <p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男子については100%、女子については83.3%であり、男女間に差が見られた。休憩時間の様子でも男子の方が積極的に外で遊ぶ姿が見られる。 運動遊びに学級で取り組んだり、朝会等で紹介したりするなどして、運動が楽しいと感じられる機会を作ったことが効果的だったと考えられる。否定的な回答をした女子が1名いるため、運動が苦手でも楽しいと感じられる運動遊びなどに取り組んでいく。 | | | <p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男子も女子もどちらも全国平均を上回っている。 栄養教諭や養護教諭が通信等により朝食の大切さを保護者に啓発しており、一定の成果をあげていると考えられる。 学期に一回続けている生活習慣調査を行い、朝食も含めた望ましい生活習慣の形成について家庭と連携した取組を今後も継続していく。 | | | <p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男子は全国平均を上回っている。休憩時間は外遊びを推奨しており、習い事で運動の時間が確保されている児童もそうでない児童もほとんどが達成することができている。 女子2名が60分未満と回答している。うち1名は0分と回答しているため、運動遊びの紹介や、休憩時間の外遊びを推奨することを引き続き継続していく。 | | |